OLAPサーバDIAPRISMと顧客情報分析システム

1．三菱OLAPサーバDIAPRISM

低成長時代の昨今，企業の経営戦略遂行においては迅速な意志決定が必要であり，これを支援するため，情報システムにはデータの有効活用が求められている。データウェアハウスはこのニーズを担う情報システムであり，このデータウェアハウスをWindows NTサーバをベースとして安価かつ容易に構築し，超高速に処理する“三菱DIAPRISM”を開発し製品化した。

三菱DIAPRISMは，従来オフコンで培ってきたデータベース処理技術を活用して新規開発したデータ処理プロセッサをWindows NTサーバに接続することで構成し，100万件当たり約２秒の超高速集計処理を実現する。製品群として，①Windows NTサーバに接続してデータベースの高速処理を実現するプロセッサボード，②当社サーバとプロセッサボードの一体型OLAPサーバ，③データウェアハウスの構築を支援するソフトウェア群を販売している。

“Windows NT”は米国Microsoft Corp.の登録商標

2．三菱データウェアハウスソリューション：顧客情報分析システム

顧客情報分析システムは，従来の市場シェア獲得を中心としたマスマーケティングでなく，顧客シェアに焦点を当てたOne To Oneマーケティングを実施し，顧客のライフタイムバリューの最大化をねらいとしている。

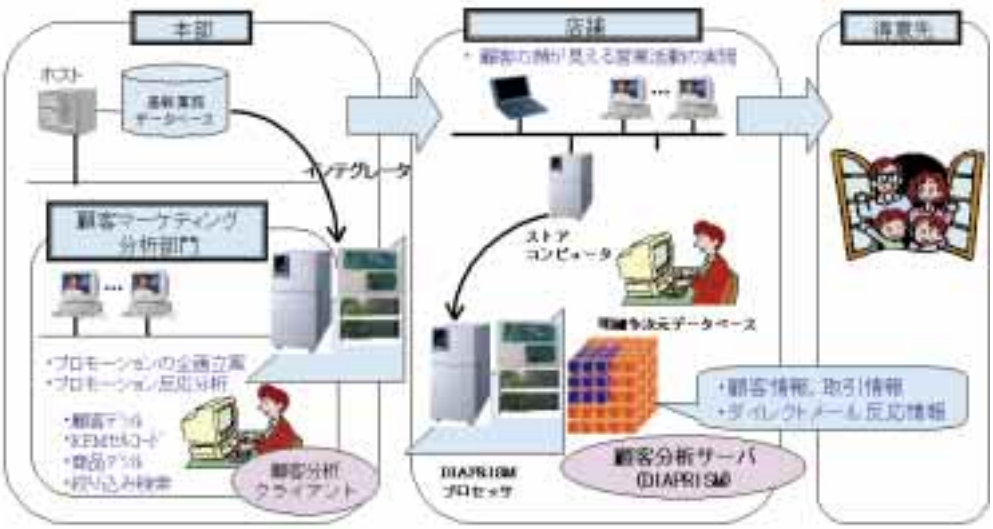
顧客の購買行動から優良顧客のセグメント化を行い，利益最大化のプロモーションを実施して，売上げ及び利益を向上させるための分析ソリューションを提供する。

この製品の特長は，従来の商品分析という視点だけでなく顧客と商品の両面を切り口にした分析が可能であり，各顧客セグメント（優良／新規／買いまわり／スリープ顧客等）と商品体系セグメント（部門別／メーカー別／商品別／カテゴリー別等）の視点からの多次元分析が可能である。

分析の手法としては，DIAPRISM多次元明細データを利用して，顧客デシル分析，RFMセルコード分析，商品体系別分析，商品系デシル分析，及びターゲット顧客絞り込みのための顧客絞り込み検索機能等を提供している。

“RFMセルコード”は㈱ジェリコ・コンサルティングが開発した分析手法で，同社の商標である。

三菱OLAPサーバDIAPRISM
（左：モデル100，右：モデル300）



顧客情報分析システム